

会 議 録

会議の名称	令和4年度第4回日向市地域公共交通会議
開催日時	令和4年1月27日（金） 13時30分から15時00分まで
開催場所	日向市役所 4階委員会室
出席者	別紙一覧
議 題	・地域公共交通計画作成業務について
会議資料の名称 及び内容	【資料1】地域公共交通計画作成業務について 【資料2】地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について 【資料3】南部ぷらっとバス運行ルートの変更について 【資料4】自家用有償旅客運送の更新登録について
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
1 開会	
2 会長あいさつ 本会議は前回会議を経て、日向市地域公共交通計画の素案としてまとめたものの他、多くの協議事項が用意されている。 今回も忌憚のないご意見を願います。	
3 協議事項	
1) 地域公共交通計画作成業務について 事務局から、配布資料に沿って説明。 (委員からの質問)	
○委員長 東郷地区意見交換会を実施すると思うが、どのような意見交換会を想定しているか。	
○事務局 まちづくり協議会で地域振興計画等を立てる際に交通部会を立ち上げており、その役員を対象に地区別カルテについて説明をする予定である。デマンド交通の再編やAI デマンドバスの導入について紹介して、地元の意見等を聞いていく予定である。	
○委員 業務工程計画でパブリックコメントを2月15日から2週間としているが、通常1か月程度と	

いう認識があるので、少し短いように感じるが、その点いかがか。

○事務局

今回は策定スケジュールも踏まえて2週間としたい。

○委員

69 ページの課題設定や目標を設定しているが、日向市民にどのような生活をしてほしいという視点が抜けている。例えば、高校生がどのように通学してほしいか等について位置付けるべきではないか。交通の目線だけで計画策定しているようなイメージであるため、検討いただければと思う。

目標設定についても、市民が1年間に1回でも乗るようにする等の話が出てくるべきであり、目標値も見せ方も考えていく必要がある。市民一人あたりで割った数字にする等、感覚的に分かるような見せ方にするべきではないか。また、宮崎交通さんの補助金額も入れるべきではないか。

72 ページの市から鉄道事業者へ要望を行うような話も表現を変えるべき。

75 ページについて、バスのダウンサイジングも既の実施しているし、あまり効果も大きくないのではないか。また、AI で全て解決すると思わない方がよいため、AI については参考ということによいか。

80 ページについて、観光の視点は必要だと感じる。ただ、観光の関係者が公共交通を来訪者に薦めるようなことを実施していくようなところから計画に記載してはいかがか。

81 ページのラストワンマイルについて、自家用有償運送をすぐに導入するようになっているが、まずはタクシー会社等の既存の交通を推進することが重要であるため、そのあたりの文章を修正いただきたい。

○事務局

まず、目標の見せ方についてはご意見を踏まえて事務局内で検討していく。

財政負担額のフィーダー補助金は、宮崎交通分もシミュレーションしており、来年度の支出について、74 ページの(3)(4)は要件から落ちたため、欠損部分を補填するために路線を見直している。国の補助金がなくなるため3000万円以上かかる想定であり、今後あまり乗降者数がない路線のバスの小型化(ハイエース等)を図っていきたい。また、イオンタウン等に向けた路線等の大幅な見直しが必要になると考えている。

76 ページについて、全て日向市駅が起点になっているものが多く、できる限り日向市駅やイオンタウン、財光寺駅も交通結節点として考えていきたいと考えている。

平成21年4月から運行しているぷらっとバスの路線再編や運行時間見直しも次年度以降、利便増進実施計画等の策定も視野に実施していきたい。

鉄道については南北に4駅あることが日向市の利点であると考えている。広域交通だけでなく、市民も地域内交通として利用してもらうことが重要である。駅の移設も検討したいが、そう簡単なものではないと認識しているため、関係者と協議をしながら進めていきたい。駅舎の利活用という視点ではドリームステーションという取り組みも興味深く、合わせて考えていきたい。

81 ページの互助交通については、東郷地域等においては自分たちで実施したいという意見も

あるので、できる範囲で地域で実現できるように支援していきたい。宮崎市や串間市の取組も互助交通という視点で参考にさせていただきたい。

市民一人ひとりに公共交通は利用させていただきたいが、現状使いにくい部分等もあるので、その点を改善しながら利用しやすいものにしていきたい。

○委員

JRの話は要望ではなく、今説明いただいた話を書いていただいた方がよいと思う。市民に片道1回乗っていただくだけでも収入が全然違うため、その点を市民に認識いただき、公共交通を使っていただくことがよいのではないかと考えている。

○事務局

ぷらっとバス等、みんなに使ってもらえるように呼びかけをしていくことが重要であるし、そのように呼びかけていきたいと考えている。

○委員長

市でも出前講座等も実施しているので、こちらからも周知等は進めていきたいと考えている。

《その他異議なし》

2) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

事務局から、配布資料に沿って説明。

〈委員からの質問〉

○委員

目標値がプラスになった理由があれば教えていただきたい。コロナ禍の中で他の自治体に比べても珍しい。

○事務局

コロナ禍で乗降者は減少しているが、先が見えないことを見据えて目標値を設定した。

路線によってはイオンタウン等の大型商業施設を通っている路線があるので、利用者増が見込まれたと推測される。

東郷地区のデマンド交通の利用状況の改善が見られた。利用者目線の運行をしてくれている部分もあり、使いやすいものとなったことが要因ではないかと考えている。

○委員

目標自体がコロナの影響時点からのものなので、改善した点は大きいのではないか。良い面は積極的に見せてもよいのではないか。

○委員長

東郷地区については、地域振興計画を昨年度策定し、まちづくり協議会とともに利用促進等の取組も進めてきたところである。

○委員

事業評価を行うにあたり、説明資料だけでなく、利用状況等のデータも説明してもらえると

分かりやすい。フィーダー系統について、「一部定期路線の導入」とあるが、その内容はどのようなものか。

○事務局

デマンドエリア地区に、南部ぷらっとバスの路線を走らせるようになったということである。

○委員

定時路線のほうが利用しやすいということか。

○事務局

今年の4月から南部ぷらっとバスの路線については利用者が2000人増加した一方で、乗合バスは、9人程度の減少（300人から291人）という状況である。温泉利用者が減った点も要因としてはあるのではないかと考えている。

《その他異議なし》（承認）

3) 南部ぷらっとバス運行ルートの変更について

事務局から、配布資料に沿って説明。

〈委員からの質問〉

《異議なし》（承認）

4) 自家用有償旅客運送の更新登録について

事務局から、配布資料に沿って説明。

〈委員からの質問〉

《異議なし》（承認）

4 その他

○事務局

今回は、3月16日（木）13:00～開催する。

5 閉会